

がん患者・経験者 ご家族 医療者 最新医療に関心のある方へ

当事者と考える ゲノム医療の実際

2026年3月7日(土)
10:00-13:00

対象 | どなたでもご参加できます(要事前申込)
会場 | 東京科学大学(旧東京医科歯科大学)
M&Dタワー2階 共用講義室1
開催方式 | 現地・オンライン(Zoom) ハイブリッド開催

どなたでも 参加無料!

▼ お申し込み ▼

現地会場



<https://x.gd/408ST>

オンライン



<https://x.gd/DCMiQ>

司会 浜本 康夫
(東京科学大学 臨床腫瘍学分野 教授)



司会 鈴木 みづほ
(東海大学)

パネリスト

新井 正美
(順天堂大学)
池田 貞勝
(東京科学大学)
植木 有紗
(がん研有明病院)
関 朋子
(慶應義塾大学)
太宰 牧子
(クラヴィスアルクス 理事長)

パネル
ディス
カッ
ション

当事者の考える攻めの予防医療

太宰 牧子

(治療経験者 | NPO法人クラヴィスアルクス 理事長
一般社団法人ゲノム医療当事者団体連合会 代表理事)



遺伝子の変化を治療や予防に
活用するGene Awareness

植木 有紗

(がん研有明病院臨床遺伝医療部 部長)



ゲノム医療は、私たち一人ひとりの体質やリスクを深く理解し、より納得感のある医療選択につなげる可能性を広げています。しかし、その仕組みや活用のリアル、そして当事者がどのように受け止め、向き合っているのかは、まだ十分に知られていません。今回は、ゲノム医療に関わる当事者の視点を中心に、最新の医療の現場で何が起きているのかを皆さんとともに考えます。ゲノム情報をどう生かし、どのように自分ごととして健康と向き合うのか——そのヒントを持ち帰っていただける内容です。未来の医療を理解し、自分の選択肢を広げるための一歩を、一緒に踏み出してみませんか。

会場アクセス

〒113-8510 東京都文京区湯島 1-5-45

東京科学大学（旧東京医科歯科大学） M&Dタワー 2階 共用講義室 1

最寄り駅

- ・JR 御茶ノ水駅
- ・東京メトロ丸ノ内線 御茶ノ水駅
- ・東京メトロ千代田線 新御茶ノ水駅

